

ちいさな 建設

世界一小さな本屋



子どもたちの宇宙

「世界一小さな本屋」は二〇二三年十二月、群馬県前橋市にオープンした。建主は地元の電気工事会社ソウワ・ディライトの社長・渡邊辰吾さん。耕作放棄地に森をつくり、一角にTiny Library（ほんの小屋）を建て、その傍にこの小さな本屋を開店した。床面積はなんと一・二四六平方メートル。「世界で最も小さな本屋」として、ギネス世界記録に認定されている。

間口一メートル、奥行一・五メートル、高さ一・五メートルの杉板張りの本屋は、子どもだけがなんとか入れるサイズ。大人に干渉されずに、興味のおもむくままに本を選べるようにという意図からだ。左右の書棚には微生物や宇宙をテーマに三〇〇冊ほどの絵本が並び、本を探し明かりは太陽光で充電するリトルサン・ソーラーライト。天井には細胞の有機的な形や色を表現したアート。ぎゅっと凝縮した空間は、ミクロな微生物から果てしないマクロの宇宙まで、それぞれがつながるこの世界に子どもたちが出会い、楽しむ場所になっている。

アクセス JR両毛線駒形駅から歩いて10分ほど